## 奥の細道むすび の 地「大垣」 十六万市民投句

むすびの地大垣

令和六年七月度 入賞句一 覧

> 小 中 学 生 0 部

投句数

千三百五十二句

遠藤

幹

郎

選

特 蓬

空高く ソ フト クリー の 雲が あ

大垣市

な か む Ġ み れ い (小四)

しに浮 た、か「 とあん晴 このでれ ろがすばらしいです。 真っ白でやわらかそうなソフいるよ」と詠いあげました。 わたった真っ青な空高くに、 トーソ クソフ リフトートク ムクリのリー いような雲が浮っームのま」がに白っ かいく んいて んでいるよとまれてもあらかい気 表い雲現日が

げ た の \_ \_ が の

辺 町 白村 友 莉 中三

茂

踊き 盆る合夏 踊様つの り子て盆 のもい踊 弾んだげたて、盆踊りのひと たの音が聞りの様子が 聞すがつ え。読た みの 手で ・に伝わってしょう。 てきます。「「げたの音」 一歩一歩」踏み鳴らしてと「夏の音」とがよく響

てくるようで

夏休 みきづ け ば ス 7 さわっ て

加茂郡川辺

井戸 う ŋ (中三)

きい出 ってそ夏 とみう休 作れとみ 者ばしのた宿 身愛の題 近用でに にあっている。 て手放せ、かったが、なった。 なてと時 いでいるのでしょう。いる自分の姿がありましたと・・・。も、宿題を終えてホッとした時でしょのことを詠んだのでしょうか。宿題の スマホは、気がい答えを引き

## 秀逸

真夜中にかなでる音色虫の声	大垣市	<b>永</b> 田	怜依 (小六)
下校中あせだくだくでかえってく	大垣市	山 田	紗世(小六)
筍のようにぐんぐん育ちたい	大垣市	河 合	浩一朗 (小六)
すいろにねざりがにいっぱい楽しそう	大垣市	寺 尾	明咲(小二)
蝉の声朝のアラーム大合唱	大垣市	安 西	杏(小六)
持つ手にはアイスクリームとけている	大垣市	小川	さくら (小六)
夏まつりきものをきたらしゅっ ぱつだ	大垣市	小 坂	茅佐(小五)
梅雨の時期空も心もどんよりと	加茂郡川辺町	中島	由捺(中二)
空見上げ鮮やか空に雲の峰	加茂郡川辺町	中 島	元悠(中二)

起

きてす

**\( \)** 

工

ア

コ

ン

つ

ける夏の

加

茂

郡

丌

辺

町

野

中

稔

矢

(中三)

## 入選

葉桜に

か

<

れて見える赤

V

橋

大垣市

安田

美南

(小六)

小

中

学 生

の部

急に 紫陽 空ひ 帰っ もや 夏まつり 夏祭りみんなではしゃぐ屋台裏 体育館汗水垂らしやるバ Ш スズ 熱帯夜どんどんふえる電気代 もう朝だ母に起こされ梅雨曇 は 熱帯夜なか ひまわりのよこにならんでせくらべだ ひきがえる夜に合唱にぎやかだ ひまわりが つゆの空見上げる時は つゆ空に野外研修さあい < ぞいにほたるの光か い舟夏 降る 花が色とりどりに咲 びく光と音で大花火 ム たらアイ ね シがじまんな歌声ひろうする つな学級遊び炎天下 雨 かた手に ぐん なか寝れずてつやする の日射しをあびている は強敵下校中 スクリー ぐ りんごいちごあめ んのびて背比 がやい V ムで元気出す くぞ V つもあめ て て V る 加茂郡 大垣市 大垣市 大垣市 加茂郡 大垣市 加茂 加 茂 加 加 茂 茂 (郡川辺 郡 郡 郡 逋 川 丌 亣 川 辺 辺 辺 辺 辺 町 町 町 町 町 三輪 村上 井戸 長島 山田 大澤 石原 伊藤 廣畑 福井 相良 辻野 加藤 今村 服部 倉田 野村 久世 ミケイライザ(小六) 朔久 伴香 瑠依 愛 華 愛永 理帆 柑菜 晴喜 咲歩 琉華 咲妃 杏菜 隼輔 隼暉 侑衣彩 (中三) 里依香 (小二) 成惺心 (小四) 茉白 (小六) (小五) (小四) (中二) (中二) (小五) (小六) (小六) (中二) (中二) (小六) (小六) (小六) (中二) (小六)

## 選者吟

万緑や露座の大佛伏し目がち

幹郎

